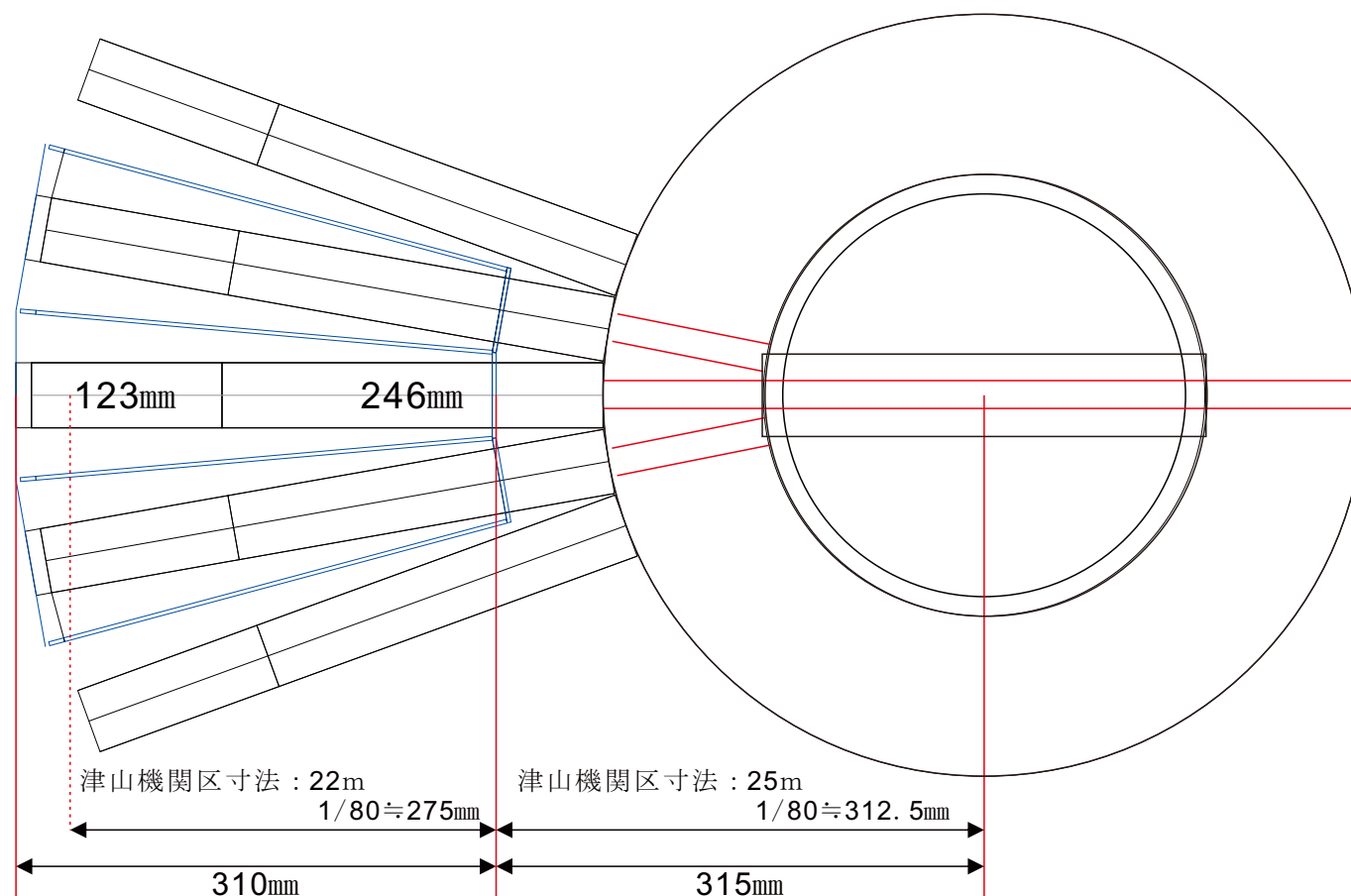


扇形庫の設計にあたって

C62、D51といった大型機が入線できる前提でコンパクトにまとまることを優先しました。
 ターンテーブルと扇形庫の位置関係は旧津山機関区の扇形庫を参考にしています。
 機関庫建物はオリジナルデザインで津山扇形庫とは寸法が一致しません。
 ターンテーブル隣接線路からユニットラック直線123mm+246mmとし、庫内有効長は297mmです。



キットの特徴

骨格部分にMDF2.5mm厚材、外壁及び屋根に硬質紙を使用。煙突は3Dプリント部品です。組立後も土台部分と本体で分割可能。照明の設置など庫内アクセスを容易にしました。照明は「ジャストプラグ」シーリングライトの使用を想定。配線経路を準備しました。

3線の基本セットを複数追加することで増線できます。
必要な線数分を揃えてからの組立がスムーズです。
後から追加で増結する場合は、既存の増設面側の外壁を剥がす工程が生じます。

組立には、窓ガラスを表現する透明プラバンと塗料、接着剤などが別途必要です。
外壁と屋根の塗装にはアサヒペン「ストーン調スプレー」の使用をお勧めいたします。

キットの構成

kAT0様のターンテーブルにユニットラックを接続するためには8.8mm浮かせる必要があります。

そのため

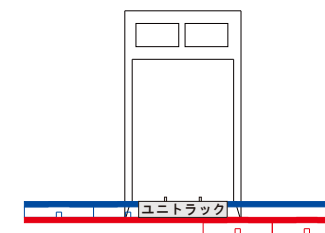
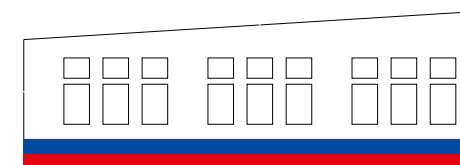
- ①8.8mm浮かせるための土台 → **赤色**の部品
- ②ユニットラック道床上面までかさ上げる機関区の床 → **青色**の部品
- ③建物本体（最終的には②の機関区の床に差し込み接着します）

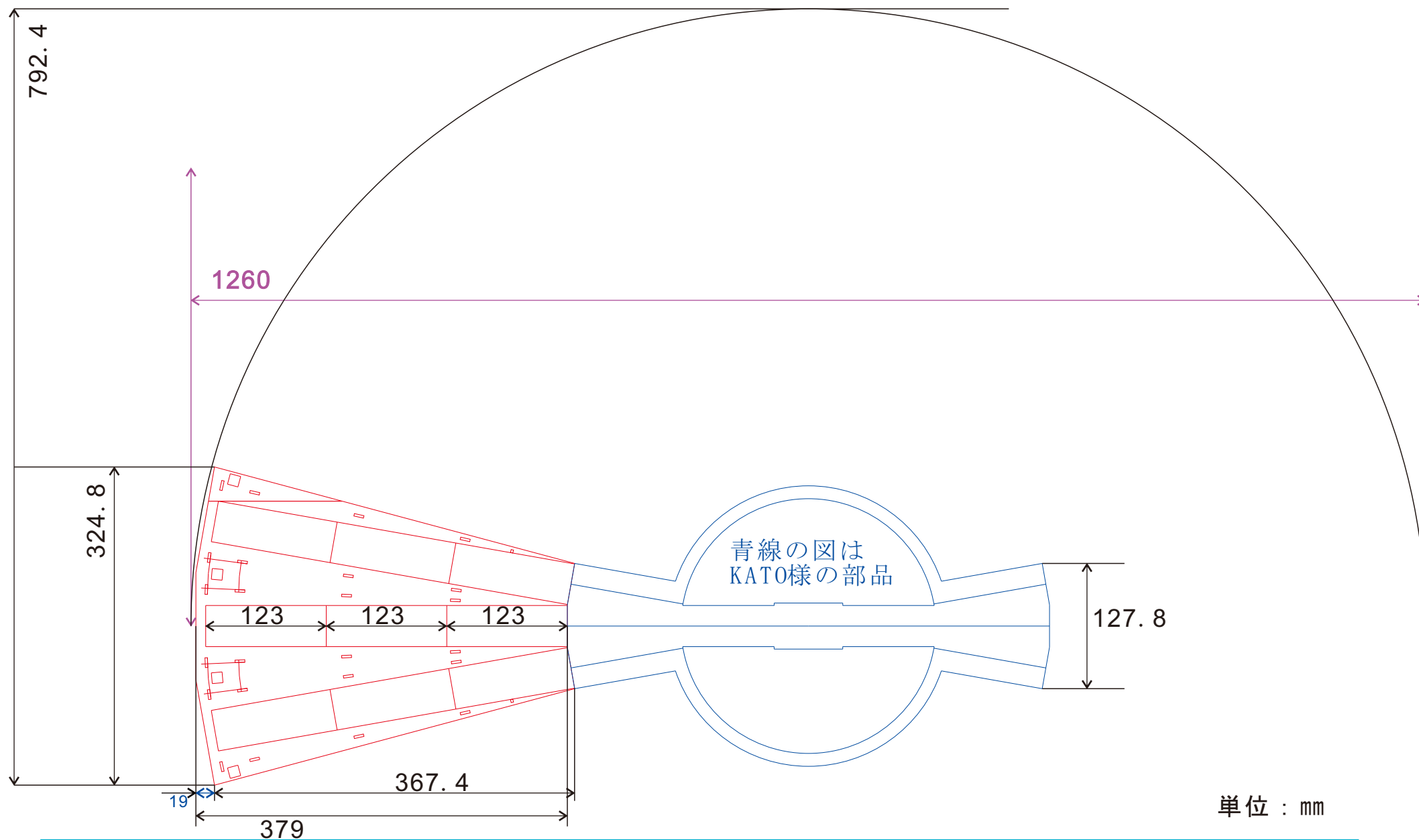
上記の3つの部品から、キットは構成されています。

すなわち

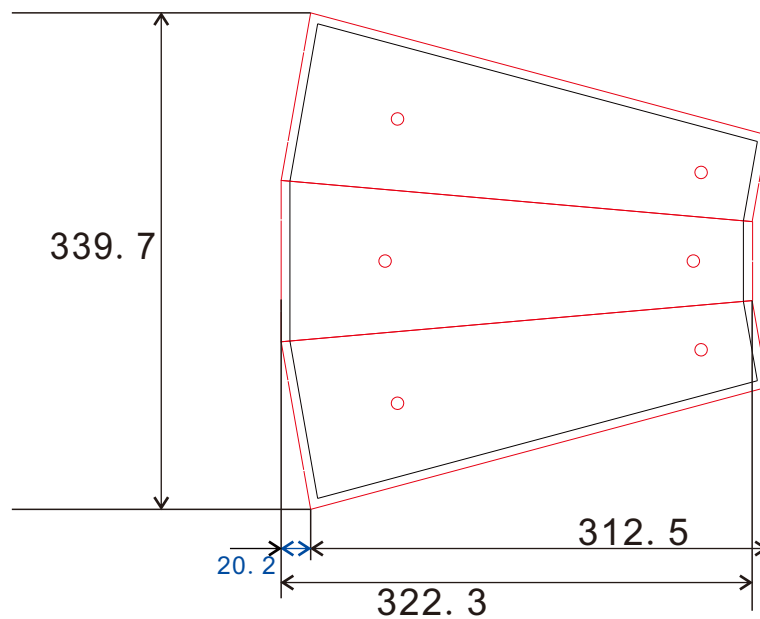
KAT0様以外のターンテーブル（例えばウォルサーズなど）で使う場合は
①のユニットラックを浮かせる土台を取除けば利用できます。

②と③が別のユニットとなっており、機関庫の床を仕上げてから建物を被せることができます。

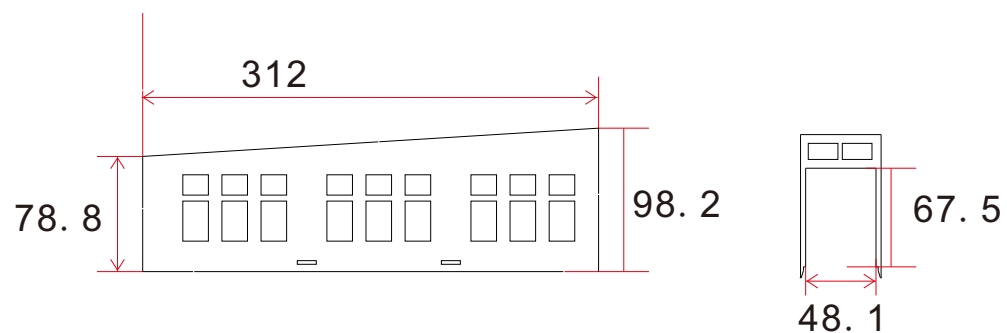
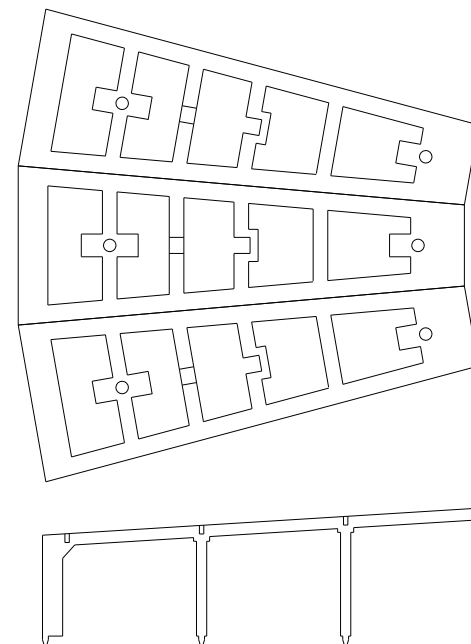




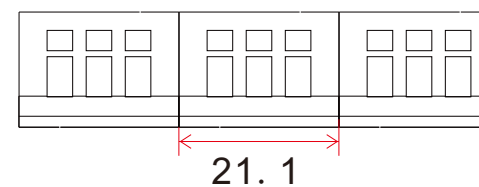
屋根の寸法



MDF材の骨格イメージ

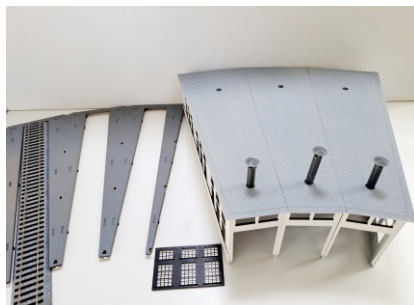


側面の寸法

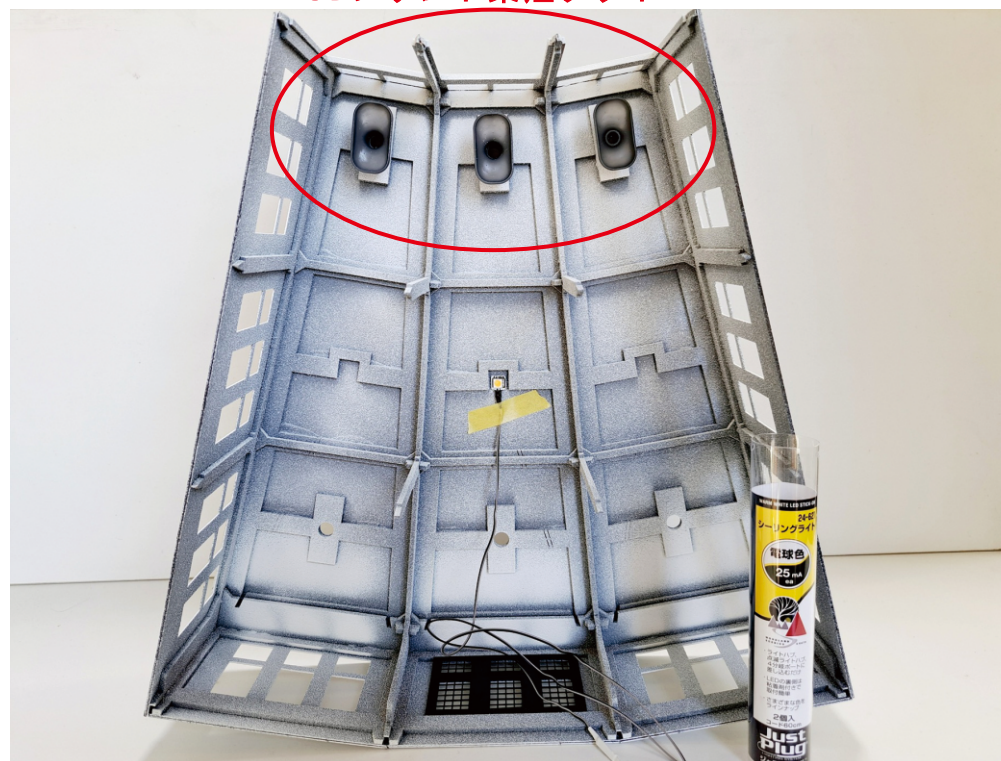




外壁・屋根共にアサヒペン
「ストーン調スプレー」を使用



3Dプリント集煙ダクト



Justplug[シーリングライト]取付例。最大で3箇所取付可。
将来の取替を考慮した配線設計。

品名	2042
スケール	扇角10度 3線扇形機関庫キット
商品形態	1/80
希望価格	キット
発売時期	10450円（税込）
	11月中旬

発売元 株式会社アドバンス
〒133-0057 東京都江戸川区西小岩3-5-9
tel 03-5622-7922 fax 03-5622-7923

お問い合わせはE-mailをお願いします
E-mail info@advanceltd.co.jp



ホームページ

商品の仕様、及び外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。